

会員増強のための活性化会議 グループワーク資料

(配布資料①)

地域薬剤師会名：羽生市薬剤師会

地域薬剤師会代表者名：安野浩崇

① 数値目標

- ・ 現会員数：A 会員 17 名 B 会員 4 名
 - ・ 目標会員数：A 会員（+9.41%）：1 名 B 会員（+11%）：2 名
-

② 具体策（3 項目）

■施策①（すぐできること）

内容：

- ・ 未加入薬局への積極的な声掛け。
- ・ 実習生にケア会議や薬物乱用防止キャンペーン活動など、薬剤師会がかかわっている地域活動を見学してもらい、薬剤師会の活動内容を若いうちから知ってもらう。

開始時期：7 月

■施策②（少し頑張ればできること）

内容：

- ・ 会員に向けた単位取得を可能にした勉強会の提供。

開始時期：8月

■施策③（新しい挑戦）

内容：

- ・ ホームページによる薬剤師会の活動の広報。
- ・ 入会金の見直しや、入会キャンペーンなどを実施する。

開始時期：8月

③ 想定される課題（任意）

入会金の見直しやキャンペーンを実施することで、既存の加入薬局から不満が出る懸念。

④ 埼玉県薬剤師会への支援要望（任意）

企業単位で、経営者に対してのアピールをしてほしい。

*できれば、入会金や会費を福利厚生にする薬局が増えるとB会員に入ってくれる従業員も増えると思う。勉強会費の補助などは謳っている企業は多いが、薬剤師会の会費補助を謳っている企業はほとんどない。

正直、この物価高の中で年会費の個人出費は極めて厳しいと思われる。